

会 議 録

会議の名称	令和3年度第2回 茨木市男女共同参画推進審議会
開催日時	令和3年9月29日（水）午後2時00分～午後2時50分
開催場所	茨木市役所本館4階 理事者控室 ※Zoomで開催
議 長	長町 理恵子 会長
出席者	長町会長、新ヶ江副会長、入交委員、梅澤委員、樫本委員、五寶委員、城谷委員、藤里委員、道満委員、矢野委員 【10人】
欠席者	木村委員、畑委員【2人】
事務局職員	上田市民文化部長、松山市民文化部長兼人権・男女共生課長、藤井ローズWAM所長、木下ローズWAM所長代理、源本男女共生係長、大和
開催形態	公開（傍聴人 2人）
議題（案件）	(1)第3次茨木市男女共同参画計画策定に係る意識調査について (2)第3次茨木市男女共同参画計画策定に係るヒアリング調査について (3)その他
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・（資料1）令和3年度市民意識調査票案（一般） ・（資料2）令和3年度市民意識調査票案（大学生） ・（資料3）令和3年度市民意識調査票案（小学生） ・（資料4）令和3年度市民意識調査票案（中学生） ・（資料5）第1回審議会からの変更箇所 ・（資料6）第3次茨木市男女共同参画計画策定に係るヒアリング調査の実施について

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	(傍聴者2名入室)
長町会長	「令和3年度第2回茨木市男女共同参画推進審議会」を開催する。
事務局	<p><会議の成立について説明></p> <p>本日の出席委員は全12人中の10人で、欠席委員が2人。半数以上の出席があるので、茨木市男女共同参画推進審議会規則第6条第2項の規定により、会議は成立している。</p>
長町会長	案件1「第3次茨木市男女共同参画計画策定に係る意識調査について」 事務局の説明を求める。
事務局	【事務局説明】
長町会長	質問や意見等あれば、お願いします。
樫本委員	<p>資料1について、問7(3ページ)の「新型コロナウイルス感染症の仕事や生活への影響」は長期にわたっていくと思うが、これと男女共同参画がどう絡み合っているのかということで、2点意見がある。1点目は、在宅勤務の方も多いため離婚や別居が増えているので、離婚や別居に関係したとか影響があったかを問う項目を入れてはどうか。2点目は、緊急事態宣言で学校は隔週や隔日登校になっている。「13.家事や育児、介護の負担が増えた」と大きく書いているだけでは、登校が大変だったとか教育機会への影響が出てこないで、子育てに限定した項目を入れてもらいたい。仕事が大変だったとか、子どもがどうだったというのは出ているが、子育てとコロナとの関係や男女共同参画との関係が出てくるようなアンケートになるとよいと思う。</p> <p>育児休業の問題について、社員は取得を希望しているが企業の経営者はほとんどが取ってもらいたくないという現状がある。これは男女共同参画の課題である「したいけれどできない」ということに関係する。一般市民だけでなく、大学生にも、「あなたが就職した時に育児休業を取ろうと思うか」とか、「取れない理由は何か」というような質問をして、大学生の育児休業の考え方を出してほしい。</p>
長町会長	今のご意見に対して事務局から何かあるか。
事務局	コロナと男女共同参画の関係性を今回のアンケート調査に盛り込んでいるが、他市でもまだ調査に盛り込めていないところかと思う。離婚や別居

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>の現状についての項目を入れるかどうかについては検討させていただきたい。子育てへの影響については、学校が休みになったことの影響を入れていくということで検討したい。</p> <p>育児休業については、この意識調査とは別にヒアリング調査を実施する予定になっている。茨木市内の企業に、男性の育児休業や男女共同参画の取組などを聞こうと思っているので、その中で盛り込みたいと考えている。</p>
長町会長	他にご意見はあるか。
五寶委員	大学生向けの意識調査は、茨木市内の大学に通う大学生が対象なので、他市から通っている人も対象となるが、茨木市から市外や他府県の大学に通っている大学生には配布されないということか。
事務局	そうである。
長町会長	市内在住の無作為に抽出した方の中に大学生が含まれていることもあるので、市民向けの調査に大学生の回答が入ってくる可能性はあるという理解でよいか。
事務局	そうである。
長町会長	資料1のF5(13ページ)について、前回の会議で定年退職は職業ではないということで「無職」の質問の変更をしていただいたが、あらためて修正したのを見ると、6と7を分けて回答するのは難しいのではないかと思います。定年退職して無職という中に家事専業(専業主婦・主夫)の人もいる可能性がある。定年退職した人の意見を吸い上げたいという意図があるなら必要かもしれないが、年齢等で類推はできるので、その程度でよければまとめてもいいのではないかと。
事務局	今のご意見については検討する。
長町会長	他にご意見はないか。
樫本委員	資料3と4について2点意見がある。1点目は、問2に「だれがするのが一番よいと思うか」で3つの項目が出ているが、今ヤングケアラーの問題もあるので、介護や家族の世話を項目に入れてはどうか。小学生に「介護」という言葉がどうなのかはわからないが、家族の世話をするというところは新たな問題になってきているので、入れていただきたい。2点目は、資

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>料3の問3と資料4の問4の選択肢について、「～のほうに向いていると思う」とあるが、現実には女子のほうが多いという話をよく聞く。小学校と中学校で本当に女子と男子の希望と、現実はどうかということ子どもたちが認識しておくという意味で、「思う」ではないような質問の仕方とか、もし生かすなら別に項目を立てるとか、現実の話で見ていけたらいいと思う。</p> <p>1点目については、ここに関してだけではなく、子どもの意識調査を実施するにあたって学校の先生と調整をさせていただいた中で、当事者の子ども達が傷ついてしまわないように配慮してほしいという意見をたくさんいただいた。例えば、介護や小さいお子さんの世話をしている子どもがいた場合、だれがするのがよいというより、現実に関心しているということに直面することになるので、家族や生活のことを聞くのは極力配慮してもらいたいという意見をいただいている。ヤングケアラーは大きな課題だと思うが、意識調査の中で個人の現実を聞くのは、先生方のご意見からすると難しい。</p> <p>2点目の男女どちらが向いているかという項目については、「と思う」を削除するのはできるかと思うが、現実はどうかというご意見については、教育委員会と調整したいと思う。</p>
長町会長	他にご意見はないか。
藤里委員	このアンケート調査は、コロナ下での実情を知る意味でのアンケートなのか、それに加えて、例えば小学生の現状を認識したうえでの回答が目的なのか。先ほどのヤングケアラーの問題であるとか、実際問題起こっていることをベースに調査するのではなく、自由に自分の意見が安心して書けるような内容になるべきだと思う。事実としては役員には女子が多いということがあるかもしれないが、統計ではこういう事実があるとなると、「女子がやらないといけない」とか「男子が少ないから男子を増やさないといけない」というふうに、そちらの事実を引きずられて本当のアンケート結果が上がってこないのではないかとと思うが、どう思われるか。
長町会長	事務局から何かあるか。
事務局	このアンケート調査は、男女共同参画に関する意識と現状の両方の質問があるという形式になっており、そこから検証しながら、男女共同参画の施策につなげていくという目的をもっている。子どもに関しては、現状と意識を区別して回答するというのは、個人差が出てくる。また、学校の教室

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
長町会長	で回答してもらうので、隣の子の回答を極力見られない形を学校にお願いしているが、家族の状況などがわかるような質問は極力問わない配慮をするようにという意見を教育委員会からいただいている。したがって、意識を問うものもあれば、現状を問うものもあるという内容になっている。
長町会長	他にご意見はないか。 多くのご意見をいただいた。アンケート設計自体も最終段階に来ているかと思うが、反映できるかどうかご検討いただけるとのことである。事務局で検討のうえ、会長と副会長に一任ということによいか。
全委員	異議なし。
長町会長	案件2「第3次茨木市男女共同参画計画策定に係るヒアリング調査について」
事務局	【事務局説明】
長町会長	質問や意見等あれば、願います。
新ヶ江副会長	ヒアリングのインタビューは誰が実施し、その結果はどういうふうにまとめて計画に反映させていくのか説明していただきたい。
事務局	ヒアリングの実施とまとめも含め、委託先の事業者と市の職員で行っていくと考えている。
長町会長	アンケート調査結果は報告書を作成されると思うが、ヒアリング結果は報告書の中に入るのか。別建てで参考資料という形で内部資料になるのか。
事務局	アンケート調査結果報告書とは別で参考資料として掲載する。
長町会長	他にご意見はないか。
藤里委員	「②困難を抱える女性への支援」について、DV被害者のヒアリング対象は支援を行う団体が対象になっているが、例えば自助団体があるならそこに対してのヒアリングが重要である。自助団体との横つながりのところはどういった課題があるのかを違う角度から知りたい。自分だけではない、同じ状況の人がいるんだということがわかるだけで、エンパワメントされるので、そういった自助団体があればヒアリングを検討していただきたい

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	い。
事務局	そういう団体もあるので、幅広くヒアリングができればと考えている。
長町会長	他にご意見はないか。
樫本委員	ヒアリング対象の方は、関わっている方とか横の関係は大事だと思う。「② 困難を抱える女性への支援」のヒアリング対象として、配偶者暴力相談支援センターの相談員、DV被害者支援等を行う団体、ひとり親自立支援員は市の方なのか、それとも民間の方なのか。
事務局	配偶者暴力相談支援センターの相談員とひとり親自立支援員は市の職員、DV被害者支援等を行う団体は民間である。
長町会長	ヒアリング調査は12月頃実施ということだが、市がアンケート調査の補足になるような形で実施されるという理解でよいか。
事務局	そうである。
長町会長	他にご意見がなければ、次の案件に入る。
	案件3「その他」
事務局	次回の審議会は来年2月頃の開催を予定している。決定したらあらためてお知らせする。 本日の会議録については、後日送付してご確認いただく。
長町会長	それでは、第2回茨木市男女共同参画推進審議会を閉会とする。
	<閉会>